

深川江戸資料館

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

深川江戸資料館（ふかがわえどしりょうかん）は、江戸時代に関する資料等を収集、保存、展示するとともに江東区民の集会の場を提供することにより、文化の振興と向上を図るために設置された、江東区立の体感型資料館^[1]。公益財団法人江東区文化コミュニティ財団が指定管理者として管理・運営している。

概要

江戸時代（天保年間頃）の深川佐賀町の街並みを実物大で再現した展示があり、朝昼晩の移り変わりが音響や照明などで演出されるほか、お店や長屋に実際に入って生活用具などに触れられる体感型の展示室がある。そのほか、小劇場やホールが文化施設機能を担っており^[1]、小劇場の定員は300人、レクホールの定員は120人で、一般貸出しており、さまざまな文化活動に使うことができる。江東区役所白河出張所も併設している^[1]。地上4階、地下1階、延床面積5,236平方メートル^[1]。

所在地は東京都江東区白河1-3-28。都営大江戸線および東京メトロ半蔵門線清澄白河駅A3出口より徒歩3分。#アクセス



外観



天保年間の深川佐賀町の路地と長屋の再現展示



木場の木挽職人の家の再現展示。大鋸や鳶口、大工道具、夫婦二人分の箱膳、女房の化粧道具など。

沿革

- 1986年（昭和61年）
 - 10月1日 - 当館開設。
 - 11月16日 - 開館。同時に江東区役所白河出

張所も設置。

- 2009年（平成21年）7月1日 - 改修工事のため長期休館。
- 2010年（平成22年）7月24日 - リニューアルオープン。

アクセス

- 都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線 清澄白河駅 A3出口 徒歩3分。
- 都営バス：門33系統「清澄庭園前」下車 徒歩3分。秋26系統「清澄白河駅前」下車 徒歩4分。
- 首都高速9号深川線 福住出入口より5分（駐車場あり6台）。

ギャラリー



商家や蔵



船着き場



天麩羅屋の屋台



長屋の共同井戸と井戸端の水場



屋内の再現展示



屋内の再現展示

他



Wikimedia | © OpenStreetMap

施設情報

正式名称	江東区深川江戸資料館 ^[4]
専門分野	江戸時代の深川の街並み
事業主体	江東区
管理運営	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団
開館	1986年（昭和61年）
所在地	〒135-0021 東京都江東区白河一丁目3-28
位置	北緯35度40分52秒 東経139度48分2秒
外部リンク	深川江戸資料館 (http://www.kcf.or.jp/fukagawa/index.html) プロジェクト:GLAM

なお、資料館に接する道は「深川資料館通り」と名付けられ、東西約800メートルにわたる商店街がある^[5]。

脚注

- ¹ [^] ^{***a b c d e***} “館の概要 (<https://www.kcf.or.jp/fukagawa/outline/>)”。深川江戸資料館. 2024年7月7日閲覧。
- ² [^] 江東区の小中学生で教師が引率する場合は免除
- ³ [^] 但し中学生以下のみでの入館はできない。
- ⁴ [^] 江東区深川江戸資料館条例 (http://www.city.koto.lg.jp/reiki-koho/reiki_honbun/ag10902381.html)
- ⁵ [^] 深川資料館通り商店街 (<https://fukagawashiryookandoori.tokyo/>)

関連項目

- 深川 (江東区)
- らくらくゴーゴー! - 日テレプラスで放送されている演芸番組。公開収録に使用。
- 笑点 特大号 - BS日テレで放送されている演芸番組。公開収録に使用。
- もういちど - 2014年に公開された日本映画。江戸時代が舞台であり、深川の町並みを再現した展示室を「そのまま」撮影セットとして使った。

外部リンク

- 江東区文化コミュニティ財団 (<https://www.kcf.or.jp/>)
- 深川江戸資料館 (<https://www.kcf.or.jp/fukagawa/>)



ウィキメディア・コモンズには、深川江戸資料館 (https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Fukagawa_Edo_Museum?uselang=ja)に関連するカテゴリがあります。

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=深川江戸資料館&oldid=102169036>」から取得